

表　2023年度予算の主な概要

チャイルドケア	子供のいる共働きの家庭に段階的に無料のチャイルドケアを提供。3段階で導入。 ①2024年4月以降、2歳の子供に対して週15時間。 ②2024年9月以降、生後9カ月～3歳の子供に対して週15時間。 ③2025年9月以降、生後9カ月～3歳の子供に対して週30時間。 低所得者向け社会保障給付（ユニバーサルクレジット）を受ける両親が復職または就業時間を増やす場合は、チャイルドケア費用を前払い。金額も増額。
雇用	年金の生涯非課税限度額を撤廃、年間非課税限度額を4万ポンドから6万ポンドに引き上げ。 50代以上を対象とした新たな復職制度を導入。業界別の訓練プログラムを通じ支援。 ユニバーサルクレジットに関し、求職、就職の意思が無い受給者などに対する罰則の適用と執行制度を強化。 5つの建設関連の職種の不足職業リストへの追加や短期のビジネス活動とされる範囲の拡大など、新たな移民政策を導入。
企業	2023年4月から2026年3月末まで以下の税制優遇策を導入（注）。 ・主要レートが適用される工場設備や機械などの費用を全額費用化。 ・特別レートが適用される工場設備や機械については購入年に50％を費用化。 研究開発関連の支出が総支出の4割以上を占める中小企業に対し、研究開発投資100ポンドごとに27ポンドを提供。 医薬品・医療製品規制庁（MHRA）に対し今後2年間で1,000万ポンドを追加拠出。 2024年以降、新たな早期承認システムを導入し、信頼できるパートナー国で承認された治療法や画期的な技術へのアクセスを早期化。 AI、次世代スーパーコンピュータへの9億ポンド規模の資金拠出と、量子技術戦略を通じた、10年間25億ポンド規模の研究・イノベーションプログラムの実施。
レベリングアップ	地域経済の成長に関する首長の責任拡大。 中部ウエストミッドランズと北西部グレーターマンチェスター地域との権限移譲に関する合意を実行。 今後イングランド内の他の自治体との交渉も実施。 12の投資ゾーンを設置。うちスコットランドに4カ所、ウェールズ、北アイルランドに各1カ所を設置。

（注） [詳細は英国政府ウェブサイト参照。](#)

（出所）英国政府